

監査結果報告書

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、次のとおり財政援助団体の出納・その他の事務の執行で、当該財政援助に係るものについて監査を実施した。

1 監査の実施概要

(1) 監査の対象

燕北地区まちづくり協議会 「燕市まちづくり協議会補助金」
(所管課：地域振興課)

(2) 監査の種別

財政援助団体監査

(3) 監査の期間

令和 7 年 9 月 3 日 (水) ～令和 7 年 11 月 25 日 (火)
ヒアリングの実施
実施日：令和 7 年 10 月 14 日 (火)
場 所：燕市小中川公民館

(4) 監査の範囲

令和 5 年度及び令和 6 年度に燕市が交付した補助金に係る出納、その他の事務の執行状況

(5) 監査の方法及び着眼点

監査の実施にあたっては、次の項目を主な着眼点とし、関係帳簿・関係書類等を調査するとともに、関係職員からの説明を聴取するなどの方法で実施した。

- ・団体に対する補助金が、目的に沿って執行されているか。
- ・補助金等に係る収支の会計経理等が適切に行われているか。

2 監査対象団体の概要

(1) 名称と代表者等

名 称	燕北地区まちづくり協議会
代 表 者	会長 竹田 敏行
所 在 地	燕市又新 1115 番地 (燕市小中川公民館内)
活 動 地 域	【構成自治会】 小中川、川前、松長
設 立 年 月 日	平成 17 年 11 月 13 日

役員構成	会 長：1人	副 会 長：2人
	監 事：2人	事 務 局：1人
	総務部会長：1人	環境部会長：1人
	福祉部会長：1人	福祉副部会長：1人
	文化部会長：1人	文化副部会長：1人

(2) 設立目的と事業内容

目的	コミュニティ活動を通して、思いやりの心を育て、連帯感を深め、住みよい環境づくりと明るく元気な地域の特性を活かしたまちづくりを推進し、合わせて自治意識の高揚を図り、住民と行政との協働関係の構築を目的とする。
事業内容	<p>【主な事業】</p> 4～3月 レインボー健康体操教室 5月 定例総会 5～10月 花いっぱい運動（春・秋） 6～10月 避難訓練・救急法講習 7月 エコ工作（夏） 8月 地域の絆～Tシャツアート展 9月 ふるさと探訪（三十三観音巡り） 11月 パネル展示 11～1月 エコ工作（冬） 1月 児童館餅つき 年1回 会報発行

(3) 補助金の交付状況

(単位：円)

補助金の名称	補助金の交付額	
	令和5年度	令和6年度
燕市まちづくり協議会補助金	1,161,096	1,150,479

(4) 決算概要

< 収 入 >

(単位:円)

財源内訳	令和5年度		令和6年度		比較増減	
	決算額 (A)	うち補助金 充当額(a)	決算額 (B)	うち補助金 充当額(b)	決算額増減 (B)-(A)	補助金充当額増減 (b)-(a)
総務部(事務局)	408,657	393,537	416,240	416,240	7,583	22,703
総務部会	323,642	218,942	380,087	199,087	56,445	△19,855
環境部会	314,352	314,352	291,471	291,471	△22,881	△22,881
福祉部会	235,550	192,050	237,839	195,239	2,289	3,189
文化部会	42,215	42,215	48,442	48,442	6,227	6,227
合 計	1,324,416	1,161,096	1,374,079	1,150,479	49,663	△10,617

< 支 出 >

(単位:円)

部会	事業名	令和5年度		令和6年度		比較増減	
		決算額 (A)	うち補助金 充当額(a)	決算額 (B)	うち補助金 充当額(b)	決算額増減 (B)-(A)	補助金充当額増減 (b)-(a)
総務部(事務局)		408,657	393,537	416,240	416,240	7,583	22,703
	事務局活動	154,937	154,937	179,240	179,240	24,303	24,303
	総会・役員会	253,720	238,600	237,000	237,000	△16,720	△1,600
総務部会		323,642	218,942	380,087	199,087	56,445	△19,855
	自主防災啓発事業	0	0	71,171	23,171	71,171	23,171
	パネル展示事業	35,522	35,522	6,942	6,942	△28,580	△28,580
	団体活動広報事業	121,770	121,770	121,770	121,770	0	0
	ふるさと探訪	166,350	61,650	180,204	47,204	13,854	△14,446
環境部会		314,352	314,352	291,471	291,471	△22,881	△22,881
	花いっぱい運動	235,821	235,821	239,369	239,369	3,548	3,548
	リサイクル運動	78,531	78,531	52,102	52,102	△26,429	△26,429
福祉部会		235,550	192,050	237,839	195,239	2,289	3,189
	レインボー健康体操	132,380	88,880	152,220	109,620	19,840	20,740
	地域の絆 Tシャツアート	103,170	103,170	85,619	85,619	△17,551	△17,551
文化部会		42,215	42,215	48,442	48,442	6,227	6,227
	児童館餅つき	42,215	42,215	48,442	48,442	6,227	6,227
	布草履づくり	0	0	0	0	0	0
合 計		1,324,416	1,161,096	1,374,079	1,150,479	49,663	△10,617

3 監査の結果・意見

(1) 調査、聴き取り、実地による確認事項

- ① 市からの補助金は、令和 5 年度は 1,161,096 円、令和 6 年度は 1,150,479 円で、全体の事業費に係る市からの補助金の割合は、令和 5 年度は 87.7%、令和 6 年度は 83.7%となっている。
- ② 燕北地区まちづくり協議会は、コミュニティ活動を通して、思いやりの心を育て、連帯感を深め、住み良い環境づくりと明るく元気な地域の特性を活かしたまちづくりを推進し、合わせて自治意識の高揚を図り、住民と行政との協働関係の構築を目的に、平成 17 年 11 月 13 日に設立され、本年 11 月で設立 20 周年を迎える。
- ③ 事業実施にあたっては、子どもから高齢者までが参加できるように計画している。毎年「古くから伝わる文化行事を伝承する」ことを目的として「餅つき」を行っており、令和 6 年度は、燕市内の企業で働く外国人実習生も交えて、「異文化の交流」をあわせて行なった。
- ④ 「地域の絆～Tシャツアート展」は、Tシャツに小学生が思い思いの考えを書いて、遊歩道に展示しており、地域住民のみならず、市内外から訪れる人もいる。地域の方からは「長く続けて欲しい」という意見も多く、地域の絆が深められていることがうかがえる。
- ⑤ 協議会役員の高齢化や事業のマンネリ化が課題となっている。10 年以上務めている役員も多く、中には 20 年以上やっている方もいるなど、若い世代への引継ぎに苦慮している状況である。そのため、新たな事業への発想が乏しくなっていることが事業のマンネリ化に繋がっているとしている。
- ⑥ 地域振興課としては、補助金を活用する上で一定の制約は理解いただきながら、地域活性化や社会情勢の変化に対応する観点から、柔軟な運用も検討する必要があるとしている。まちづくり協議会は、地域の重要なコミュニティ組織であるため、引き続き財政支援のほか、情報提供や相談対応など人的支援も行っていくとしている。

(2) 意見

燕北地区まちづくり協議会は、本年 11 月に創立 20 周年を迎えられる。長年にわたり、地域活動を精力的に取り組んでこられたこれまでの活動に対し敬意を表するものである。

本協議会は、伝統を後世に引き継ぐために毎年行っている「餅つき」や小学生が T シャツに思い思いの気持ちを書く「地域の絆～T シャツアート～」の活動などを行っている。幅広い年齢層の方が参加できる事業を計画し、地域の方から長く続けてほしいという声があることについては大きく評価したい。

地域の安心安全を考え、震災や災害に備えた防災訓練を行い、地域全体で防災意識を高める取り組みや地域が抱える空き家を活用して若い人が交流できる場所を提供する方法を思案するなど、地域住民とのつながりを大切にしていることがうかがえる。引き続き地域住民と交流を深め、地域全体が成長できることを希望したい。

一方で、役員の高齢化や担い手不足が課題で、若い世代への引継ぎに苦慮しており、事業のマンネリ化につながっているとしているが、自治会などのサポートにより協議会の運営を円滑

に行えるよう、若い世代が参加しやすい環境づくりや役割分担の見直しを進めることが求められる。役員の担い手不足という課題が解消され、持続可能な運営体制となることに期待したい。

通帳及び現金管理について、一部改善を要するものが見受けられた。透明性を図るため、各部会ごとに帳簿（現金出納帳）を作成し、現金の出し入れが明確に把握できるよう、複数人による確認を行うなど、早急に改善を要望する。

（3）地域振興課への意見

課題としては、協議会の補助金を活用するうえで一定の制約はあるが、近年の物価高の影響により、事業のやり繰りが難しいとの声があるため、運営の効率化を考えると補助金を柔軟に活用できるよう検討する必要がある。また、役員の担い手不足についても他の協議会の事例を提案するなど課題解決に向け取り組まれない。

通帳及び現金管理について、一部改善を要するものが見受けられたことから、帳簿（現金出納帳）の作成と運用の徹底を図り、現金の出し入れ状況が明確に把握できるよう、所管課として、適切な指導を行い、早急に改善するよう要望する。